

江南市立北部中学校にて防災教育を実施します！！

～マイタイムラインの作成、災害対策車両の見学会など～

概要

幼少期からの防災教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待されます。

この度は、江南市立北部中学校において、木曾川上流河川事務所職員による「防災出前講座」及び、参加者にいざという時に「いつ、どのような行動をすべきか」を考える「マイタイムライン」の作成を体験してもらいます。また、同事務所が保有する「災害対策車両の見学会」を行います。

～マイタイムラインとは～

台風等の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

1. 開催日時 令和元年9月1日（日）13：50～15：10頃まで
※上記は木曾川上流河川事務所が参加する時間となります。
2. 開催場所 江南市立北部中学校
3. 対象 江南市立北部中学校の生徒及び保護者等（約60名）
4. 詳細 13:50～ 防災出前講座（過去の水害について）、マイタイムラインの作成
*【別紙1】参照
14:50～ 災害対策車両（排水ポンプ車、照明車）の見学会（約20分）
*【別紙2】参照
5. 配布先 中部地方整備局記者クラブ
6. 問合せ 木曾川上流河川事務所

保全対策官 かわぐち 川口 かずひこ 一彦

TEL 058-251-4265（防災情報課直通）

FAX 058-251-6594

マイ・タイムラインをつくってみよう！！

江南市立北部中学校 年 組 ()

みんなで考えてみよう！



台風が発生してから、川の水が氾濫するまで、わたしたちはいつ・何をすればいいのかな？



氾濫までのおおよその時間	外の様子	国土交通省、江南市などからの情報	わたしたちの行動
3日前	<p>台風が発生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風予報 ○ 台風に関する岐阜県の情報 	<p>避難するときにあわてないように、今から出来る準備はあるかな？</p>
2日前	<p>台風が近づいて、雨や風が強くなる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨注意報 ○ 洪水注意報 	<p>雨が強くなったら、外に出られなくなるかも？</p>
1日前		<ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨警報 ○ 洪水警報 ○ 暴風警報 	<p>江南市で雨が強くなくても、上流で雨が強くなると川の水が増えてくるよ！</p>
半日前	<p>雨が集まって、川の水が増える</p>	<p>洪水予報（氾濫注意情報）</p> <p>川の水が増えてきました</p>	<p>家のまわりや、避難に使う道は大丈夫かな？ 避難に必要なものはそろっているかな？</p>
5時間前	<p>川の水がいっぱいであふれそう</p>	<p>洪水予報（氾濫警戒情報）</p> <p>川が氾濫するおそれがあります</p> <p>避難準備・高齢者避難開始情報</p> <p>避難の準備をして下さい。避難に時間がかかる人は避難を開始して下さい</p>	<p>川の水があふれる前に安全な場所へ逃げないと！</p>
3時間前		<p>洪水予報（氾濫危険情報）</p> <p>いつ氾濫してもおかしくない状況です</p> <p>避難勧告又は避難指示（緊急）</p> <p>危険なので避難して下さい！</p>	
0時間	<p>川の水が氾濫</p>	<p>洪水予報（氾濫発生情報）</p> <p>川が氾濫しました！</p>	<p>川の水が一気に広がって水びたし。こうなると動けないぞ！</p>

当日は対策本部車の展示はありません

さいがいげんば かつやく さいがいたいさくしゃりょう

災害現場で活躍する災害対策車両

対策本部車（たいさくほんぶ車）

【木曽上保有台数 1台】



げんち たいさく ほんぶ かつやく

◆現地対策本部として活躍

車体を拡張した時の室内の広さは14畳で、災害現場で会議室や仮眠所として使用できます。無線機、FAX、TVなどを搭載。シャワー、トイレ、などを装備し、災害現場の対策本部として機能します。2台を連結することができ、さらに広いスペースを確保できます。



排水ポンプ車（はいすいポンプ車）

【木曽上保有台数 4台】

やく から

◆小学校のプールを約10分で空に

内水はん濫で緊急に排水が必要な時に使用します。

1秒間にドラム缶約2.5本（30m³/分）の排水が可能、小学校のプールを10分ほどで空にすることができます。

1回の給油で約25時間稼働します。



照明車（しょうめい車）

【木曽上保有台数 2台】

きんきゅうやかんさぎょう あんぜん こうりつ かくほ

◆緊急夜間作業の安全と効率を確保

災害現場で夜間に十分な明るさを確保し、緊急作業の効率を高めるとともに、安全な作業環境を確保します。

明るさは、グラウンドのナイター照明塔1基に相当します。

また、7階建ビルの屋上と同じ高さから現場を照らします。



国土交通省木曽川上流河川事務所